

Official trip report on ASEAN Design Selection 2017-18/Trade in Creative Industries

アセアンデザインセレクション 2017・18

出張報告書

国名と都市：ホーチミン市、ベトナム

出張者：貿易投資部 伊藤プロジェクト担当官

リソースパーソン：株式会社コボ 代表取締役社長 山村真一

公益財団法人日本デザイン振興会（JDP） 矢島進二

出張期間：2017年10月15日-19日

● 事業趣旨

「グッドデザイン・アセアンセレクション 2017-18」は、日本アセアンセンターと日本デザイン振興会との連携によって、アセアン各国の創造性豊かな企業の国際展開を支援することを目的に実施される。これまで両者は、「グッドデザイン・アセアンセレクション 2003-05」「グッドデザイン・メコンセレクション 2014-15」を実施してきた。「アセアンセレクション 2017-18」も、その趣旨を継承した事業である。

当事業は2年間の実施計画で、2017年は、アセアン各国へデザイン専門家（グッドデザイン賞審査委員あるいはその経験者）を派遣し、グッドデザイン賞へ推薦する候補を選ぶ。候補になった企業は専門家の指摘にそって商品をブラシアップする。そして2018年には、これらの候補を日本アセアンセンターがグッドデザイン賞に推薦。グッドデザイン賞は事業の趣旨を踏まえつつ審査を行い、受賞対象を選ぶ。さらに両者が協力し展示会等を通じて日本市場への訴求をはかる。

● 訪問内容

「グッドデザイン・アセアンセレクション 2017-18」の「推薦候補の選択」にあたっては、これまでの事業経験を生かし、(1) デザインの考え方を理解し共有する「デザインセミナー」、(2) 日本のデザイナーとの対話する「ワンポイントアドバイス」、さらには、(3) グッドデザイン賞に向けての論点を共有する「企業訪問」の3つのメニューで実施することとした。事業はアセアン各国で実施されるため、このプロセスを日本アセアンセンターは以下のように「標準化」した。

- ・ 1日目：デザインセミナーとワンポイントアドバイス
- ・ 2日目：企業訪問と推薦候補選び
- ・ 3日目：現地主催者への報告と意見交換

● ベトナム

場所：ノーフォークホテル、ホーチミン市

参加人数：47名

候補企業数：21企業

企業訪問：訪問企業数：5企業



- 第一審査結果

合格：3企業

NS ジュエリー・デザイン NS Jewelry design

評価ポイント：ビジネスモデル

会社設立してまだ5ヶ月だが、オーナー女性は高い志をもっており、特に「職人を育成し守っていく運動」という意識の高い姿勢に共感する。ストーリー（物語）を作り、情報化をすることで、市場参入を狙う。ベトナムで採集された石を輪切りにするなど、自国のテイストを大事にしなが、「NS」というブランド名で現代性と国際性のあるアクセサリーをクリエイト。パッケージのカラーセンスも高く、日本のセレクトショップなどに参入のポテンシャルを評価。日本の「HASUNA」のように「エシカル」に特化することも可能。



アーテックス・ゴブラン Artex Goblins

評価ポイント：プロダクト

フランス発祥のゴブラン織を製造する企業で、日本アセアンセンターの展示会に出展した実績がある。表裏刺繍の技術が高い点を評価。多数のある商品のからシンプルでありながら、オーセンティックな「トートバックシリーズ3点」を選考対象とした。



デイン・クオン Dien Quang

評価ポイント：プロダクト

1973年会社設立。東芝やパナソニックのOEM生産の実績がある。鹿の角のランプはホテルや店舗での使用を想定したもののだが、嗜好性が高くマーケットは狭いことから、「木質ランプ」を選考対象とした。



- 山村真一審査員からの評価：

ベトナムがもつ素材の良さ、加工技術の高さ、さらにものづくりにかける情熱を感じる。特に若い世代の活躍が目立つことへの期待が高い。デザイン導入で伝統産業をどう再生したのか、付加価値や新しいビジネスを生み出すにはデザインが必須であり、国の経済力促進の為に大きく貢献することを強調したい。今後デザイン促進事業を通して、下請けから自社ブランドへのシフト、イノベーションの重要性を学び、国際的市場に参入可能な商品開発を目指すことを期待する。

- 矢島進二氏からの総評：

VIETRADEが予め調整した企業訪問をするも、選考対象外の企業も訪問することになったことから、今回のプロセスについては、原則は対象企業の個別相談を受けた後、候補選抜を行った企業を訪問した後に第一次審査通過企業を選抜する、という合理的なステップが理想的であると認識した。2003年から日本アセアンセンターのASEAN Design Selectionに山村審査員と係わり、さらに、2014年のメコンデザインセレクションでもベトナムを訪問した経緯を、ベトナム側にも説明したが、アセアン諸国のデザイン力の向上に今後さらに期待したい。

- 全体の総論：

2014年、2015年と2年間実施したメコンデザインセレクションにおいては、ハノイ市しか訪問しておらず、ホーチミン市からの企業も候補にはあがったものの、ハノイに拠点がある企業が賞を受賞したことから、今回は日本アセアンセンターの主担当から、ホーチミン市の企業を対象にしたい旨、伝えたところ、Vietrade ハノイオフィスは快くこれに応え、ホーチミン市拠点企業の選定が実現した。

Vietrade ホーチミン市オフィス BUI THI THANH AN 所長は、候補に選んだ3社に関し、大企業ではなく、中小企業を対象にしたが、その推薦企業を選抜したことに対して感謝の意があった。ベトナムでは内需に応える以外に外からのインバウンドの観光客に応えたい企業も増えていることから、VIETRADEとしてもこの分野を強化したい、と発言があった。今後も情報交換を継続し、特に日本アセアンセンターには日本から有名デザイナーを招いて集中セミナーの開催をし、デザイン力を高める機会を設けて欲しいと提案を受けた。



---

- その他：

今回 Vietrade から情報提供された Vietnam Design Association を視察することとなり、Vice President の Ho Tan Duong 氏と、Deputy of Chief の Tran Ngoc Danh 氏と面談した。2013年設立のこの協会は、ベトナム全土を対象とし、会員数は現在 300社（企業会員と個人会員の2種）となっている。「文化スポーツ観光省」の承認を受けているが、政府からの資金や援助は受けてないとのこと。Vietrade の管轄は商業省であるが、文化スポーツ観光省との連携もふくめ、今後も注目していきたい。

